

学校経営の基本方針

(1) 学校教育目標

夢の実現に向けて、確かな学力、豊かな心、健康・体力を身につけた児童・生徒の育成

(2) 有明中学校区共通経営の基本方針

- 小・中学校9年間をとおして、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」に満ちた子どもを育成する。
 - ・人権尊重の精神を基盤に、常に子どもを中心に据え、認め、ほめ、励ましなが、子ども一人一人を伸ばす教育活動を実践する。
 - ・子どもの実態を踏まえ、身につけ到達させる目標とねらいを明確にした教育活動・指導を展開する。
- 児童生徒、保護者、地域住民に信頼され、地域とともにある学校づくりを推進する。
 - ・学校、家庭、地域及び幼・保等、小、中と連携・協力した教育を推進する。
 - ・学びの場にふさわしい、安全で美しく潤いのある教育環境づくりを推進する。

(3) 学校経営の思い

生涯学習社会を展望し、児童一人一人の生きる力を育むため、学校・家庭・地域が一体となって、創意工夫に満ちた特色ある教育活動等を展開する。

特に、以下を常に念頭に置いて、学校経営に取り組む。

- ① 教職員一人一人が使命感と情熱を持ち、児童・保護者・地域社会の信頼と負託に応える特色ある教育実践を推進する。

※くまもとの教職員像 ※不祥事の根絶 ※保護者とともに悩む

- ② 「子どもあつての学校」「地域あつての学校」を忘れず、常に謙虚さと緊張感をもって、教職員はもとより、児童、保護者、地域住民の参画による学校づくりに努める。

※地域素材の掘り起こし ※先人に学ぶ道徳教育教材（開発・発見）
※学校運営協議会との連携 ※横島町づくり実行委員会との連携

- ③ 授業力向上に努めるとともに、個に応じた指導の充実に努め、生きる力の基盤となる確かな学力の育成に努める。

※熊本型授業の日常化 ※学校教育法第30条第2項の具現化
※特別支援教育の充実に基盤とする確かな学力の育成
※横島小の取り組みの目玉はこれだ！と言える実践

- ④ 教職員・児童とも、明朗快活でさわやかな立ち居振る舞いで豊かな人間関係を築き、規範意識を明確に持ち、自主自律の態度で互いに高めあうことのできる学校づくりに努める。

※生徒指導の充実（ゼロトレランス・生き方指導） ※人権教育の推進
※体験活動の充実 ※教職員の率先垂範

教育活動の『原点』

① 学校教育の主人公は子どもである。

学校は人を大切にするとこ、人と人が信じ認め合えるところ、自分を磨き高めるところ、そして自分の故郷に誇りを持たせるところ、そんな学校でありたい。

② 子どものために学校がある。

学校に勤める者は児童の健全な育成を目指して教育活動を行う、最低限、児童に不利益を被らせてはならない！己自身が己を厳しく見つめ続けること。教職員は子ども達にとって人生の道しるべです。

③ 子どものために教職員がいる。

教職員としての奢りを捨て、誠実に生き、周囲や同僚の声にも素直に広く耳を傾け、人の前に立つ者が、自分を高める、自分を磨く努力をしましょう。自らを律し、誇りを持って教育活動を進めましょう。

④ 子どものために授業があり、行事がある。

授業が解らないで落ち込んでいる子どもの姿、楽しいはずの学校行事を遠巻きにしか参加できない子ども、いじめや仲間外しに苦しんでいる子どもの姿、そんな姿にさえ気づかない教職員であってはならない。